

問1 ホウセンカの花が咲いた後にできる実の中には、どのようなものがたくさん入っていますか。

問2 かんさつしたものの色や形がよくわかるように、ていねいにかく絵のことを何といいますか。

問3 植物の草たけを正しくはかるとき、どこからどこまでの長さをはかりますか。

問4 たねから芽が出て、はじめに出てくる葉のことを何といいますか。

問5 こん虫が、まわりの植物や土、ほかの生き物などの自然と、おたがいに助け合ったりえさになったりして生きていることを何といいますか。

問6 植物が成長して実ができるのは、どのようなようになった後ですか。

問7 平たい形をしていて、白と黒のしま模様があるのが特徴のたねは、次のうちどれですか。

問8 ダンゴムシは、どのような場所で見つけることができますか。

問9 ダンゴムシは、ふだんどのような場所をよく見つかる特徴がありますか。

問10 ダンゴムシをさがすとき、もっとも見つけやすい場所はどこですか。

問11 ホウセンカの丸くて小さいたねがたくさん入っている実は、いつできますか。

問12 植物や動物の「表面のようす」をくわしく調べるときは、どのようにして確かめますか。

問13 ヒマワリの花がさき終わった後にできる、しま模様があるものは何ですか。

問14 モンシロチョウの成虫は、何を食べて生きていますか。

問15 土を入れ、指などで穴をあけてたねをまき、最後に水をやるという、大きなたねをまくときの方法を何といいますか。

問16 マリーゴールドのたねができるのは、どのようなときですか。